

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	04-01-18		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	管理費（無人ひろば館）		部課名	区民生活部区民課		課長名	秦野	
			担当者名	森田		内線	2513	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-02	管理費（無人ひろば館）						
	01-03-03	営繕費（無人ひろば館）						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度)			<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		元年度	根拠	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度	法令等				
実施基準	<input checked="" type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input type="radio"/> 区独自基準			計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	地域住民の相互交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供を行う場として、ひろば館を維持管理するために清掃委託や各種設備保守委託等を行う。							
対象者等	ひろば館利用者							
内容	<対象施設> (1) 旧区民事務所 南千住区民事務所西部、東尾久 (2) 高齢者事業館 宮の前 <事業内容> (1) 消耗品購入及び物品修繕に要する費用の支出 (2) 光熱水費の支払 (3) 手数料（ゴミ処理券、カーテン等洗濯、廃棄処理）の支払 (4) 各種委託料（清掃委託・消防設備等保守委託）の支出							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南千住区民事務所西部ひろば館（旧第二出張所） 昭和42年3月竣工 362㎡ 鉄筋コンクリート造3階建 ・ 東尾久ひろば館（旧第六出張所） 昭和46年3月竣工 335㎡ 鉄筋コンクリート造4階建 ・ 宮の前ひろば館 昭和44年3月竣工 185㎡ 鉄筋コンクリート造4階建の1.2階部分 （平成24年4月から無人化、平成29年4月に2階部分を支援センターアゼリアの占有とし面積減） <p style="text-align: center;">※平成29年度に組織改正に伴い「管理運営費（ひろば館）」から無人ひろば館事業を独立</p>							
必要性	ふれあい館整備が進んでいない地域においては必要なコミュニティ施設である。							
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 日常管理は区民事務所で実施							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	施設の稼働率（%）	20.6	20.4	23.1	21.0	23.0	
	②	1㎡あたりの修繕費(円)	119	1,231	863	975	649	家屋等修繕費(緊急修繕費除く)/延床面積
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
継続	継続	区民の相互交流、自主的な活動を進める場として、必要な維持管理を行い、効率的な運営を図る。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額						-	6,255	6,294
決算額(30年度は見込み)						-	5,113	6,294
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
旧区民事務所の無人ひろば館数		2	2	2	2	2	2	2
旧高齢者事業館の無人ひろば館数		1	1	1	1	1	1	1

予算・決算の内訳

平成28年度(決算) 平成29年度(決算) 平成30年度(予算)

節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
			需用費	家屋等修繕費	761	需用費	家屋等修繕費	860
			需用費	消耗品費・光熱水費	1,706	需用費	消耗品費・光熱水費	1,984
			役務費	ごみ処理券等	22	役務費	ごみ処理券等	102
			委託料	保守・清掃委託	2,556	委託料	保守・清掃委託	3,280
			使用料等	AEDリース等	67	使用料等	AEDリース等	68

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		1,518	2,146	628		地方税		0		0
物件費			4,351		国庫支出金		0		0		
維持補修費			761		都支出金		0		0		
扶助費			0		分担金及び負担金		0		0		
補助費等			0		使用料及び手数料		628		628		
減価償却費			428		その他		107		107		
不納欠損・貸倒引当金繰入額			0		行政収入合計(a)		0	735	735	0	
賞与・退職給与引当金繰入額	163		637	474	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲1,681	▲7,588	▲1,102	▲1,102		
その他行政費用			0		金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)	1,681		8,323	1,102	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲1,681	▲7,588	▲1,102	▲1,102		
特別費用(g)			0		特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0		0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲1,681	▲7,588	▲1,102	▲1,102		

備考 物件費と施設補修費は組織改正による按分方法の変更によって皆増となっている。

問題点・課題 ○施設・設備の老朽化により今後修繕件数の増加が見込まれ、修繕経費の増加が課題である。
○修繕費用が増加していることや付帯設備の不備などから、利用者の期待に応じられないことがある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	利用者の要望に沿ったひろば館運営が行えるよう施設管理や設備の改善を実施する。	利用者の要望に沿った無人ひろば館運営が行えるよう施設管理や設備の改善を実施した。	引続き、利用者の要望に沿った無人ひろば館運営が行えるよう施設管理や設備の改善を実施する。
②	中長期改修実施計画対象施設であるひろば館の改修を進めるとともに、緊急性を判断して修繕を適正に行っていく。	中長期改修実施計画対象施設である無人ひろば館の改修を進めるとともに、緊急性を判断して修繕を適正に行った。	中長期改修実施計画対象施設である無人ひろば館の改修を進め、緊急性を判断して修繕を適正に行っていく。
③	ふれあい館の整備状況を踏まえ、今後のひろば館運用について検討する。	ふれあい館の整備状況を踏まえ、今後のひろば館の運用について検討を行った。	ふれあい館の整備状況を踏まえ、今後のひろば館の効率的な運用を検討する。

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
他区においても、施設の管理運営に必要な経費として計上している。

況議(要旨) 平成27年度決特 無人館(ひろば館)の数、管理状況等について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		04-03-01		戦略プラン		<input type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事			
事務事業名		管理運営費（ひろば館）		部課名		区民生活部区民施設課			
				課長名		村田			
				担当者名		上岡			
				内線		2534			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-01-01 管理運営費（ひろば館）							
		01-03-02 営繕費（ひろば館）							
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		元年度		根拠法令等			
終期設定		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度		荒川区区民ひろば館条例・同施行規則			
実施基準		<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input type="radio"/> 区独自基準		計画区分		<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系		分野		V		文化創造都市			
		政策		10		活力ある地域コミュニティの形成			
		施策		02		地域文化とコミュニティの拠点づくり			
目的		地域住民の相互交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供を行うとともに、高齢者の健康増進や文化振興を図る場として、ひろば館を維持管理するために清掃委託や各種設備保守委託等を行う。							
対象者等		ひろば館利用者							
内容		<対象施設> 8館（直営2館・委託6館） ※30年度から、荒川六丁目ひろば館を委託化 (1) 高齢者事業館 [直営] 東尾久小沼 [委託] 三河島、荒川六丁目、町屋二丁目、東尾久三丁目、西尾久みどり、諏訪台 (2) 旧社会教育事業館 [直営] 日暮里 <事業内容> (1) 日暮里ひろば館の非常勤職員（ひろば館嘱託員）報酬・社会保険料、臨時職員賃金の支出 (2) 消耗品購入及び物品修繕に要する費用の支出 (3) 光熱水費、通信運搬費（電話料、NHK受信料、CATV視聴料）支払 (4) 手数料（ゴミ処理券、ピアノ調律、カーテン等洗濯、樹木剪定）支払 (5) 各種委託料（清掃委託・消防設備等保守委託）、コピー機賃借料の支出							
経過		S39年1月：日暮里青年館設置（後に日暮里社会教育館→日暮里ひろば館） S47年4月：尾久青年館設置（後に尾久社会教育館→尾久ひろば館） H元年4月：「ひろば館構想」実施 H16年7月：ひろば館貸室の有料化 9月：上尾久ひろば館・町屋三丁目ひろば館が閉館 H19年4月：西日暮里ひろば館（20年3月閉館）、尾久ひろば館（24年3月閉館）が子育て支援部に移管 H22年3月：南千住五丁目ひろば館が閉館 H23年4月：石浜ひろば館が南千住区民事務所東部ひろば館に移転統合 H24年3月：瑞光ひろば館・地蔵堀ひろば館・小台橋ひろば館閉館 4月：宮の前ひろば館無人化 H25年3月：南千住区民事務所東部・石浜ひろば館（旧土地所有者に跡地売却）、東日暮里二丁目ひろば館（公募にて跡地売却）、東日暮里三丁目ひろば館閉館 ※平成29年度から「営繕費（ひろば館）」を統合。南千住区民事務所西部・東尾久・宮の前ひろば館を「管理費（無人ひろば館）」「営繕費（無人ひろば館）」に分割。 H30年4月：荒川六丁目ひろば館を委託化							
必要性		ふれあい館整備が進んでいない地域においては必要なコミュニティ施設である。							
実施方法		（ 2-一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明		
			27年度	28年度	29年度	30年度 見込み		目標値 (38年度)	
	①	施設の稼働率(%)		51.7	49.9	59	53.5	54	
	②	修繕件数(件)		30	31	27	29	32	
③	1㎡あたりの修繕費(円)		851	951	974	974	992	992	家屋等修繕費（緊急修繕費除く）/延床面積
事務事業の分類		分類についての説明・意見等							
30年度		31年度							
継続	継続		区民の相互交流、自主的な活動を進める場として、必要な維持管理を行い、効率的な運営を図る。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額				35,542	35,501	36,199	28,745	30,186
決算額(30年度は見込み)				31,452	32,783	34,402	26,785	30,186
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
旧区民事務所ひろば館数(3号事業、直営)		1	—	—	—	—	—	—
高齢者事業館ひろば館数(直営)		5	3	3	3	2	2	1
高齢者事業館ひろば館数(委託)		4	4	4	4	5	5	6
旧社会教育事業館のひろば館数(直営)		2	1	1	1	1	1	1
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報酬	ひろば館嘱託員報酬	9,972	報酬・共済費	ひろば館嘱託員報酬・社会保険料	11,501	報酬・共済費	ひろば館嘱託員報酬・社会保険料	11,599
共済費	ひろば館嘱託員社会保険料	1,491	賃金	窓口事務補助臨時職員	2,900	賃金	窓口事務補助臨時職員	3,590
賃金	窓口事務補助臨時職員	2,791	需用費	光熱水費、消耗品、修繕等	9,502	需用費	光熱水費、消耗品、修繕等	9,675
需用費	光熱水費、消耗品、修繕等	12,444	役務費	電話料・樹木剪定等	694	役務費	電話料・樹木剪定等	766
役務費	樹木剪定等	860	委託料	設備保守点検、清掃等	1,526	委託料	設備保守点検、清掃等	3,879
委託料	保守点検、清掃等	6,271	使用料等	AED・コピー機賃貸借	265	使用料等	AED・コピー機賃貸借	274
使用料等	コピー機賃貸借、備品購入等	573	備品購入費	ひろば館事業用備品購入等	400	備品購入費・負担金等	ひろば館事業用備品購入・負担金等	403

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	19,074	20,919	1,845	地方税	0	0	0
	物件費	19,451	12,716	▲ 6,735	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	3,486	2,569	▲ 917	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	3	2	▲ 1	使用料及び手数料	3,840	2,839	▲ 1,001
	減価償却費	290	1,099	809	その他	140	289	149
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,980	3,128	▲ 852
	賞与・退職給与引当金繰入額	817	482	▲ 335	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 39,141	▲ 34,659	4,482
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	43,121	37,787	▲ 5,334	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 39,141	▲ 34,659	4,482
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 39,141	▲ 34,659	4,482	

備考 ひろば館の運営及び維持管理に要する経費であるため、行政費用のうち人件費・物件費が大部分を占めている。物件費のうち主なものは施設の光熱水費(6,591千円)、臨時職員賃金(2,900千円)、清掃委託料等(1,526千円)である。

問題点・課題 施設・設備の老朽化により、今後、修繕件数の増加が見込まれ、修繕経費の増加が課題である。修繕費用が増加していることや付帯設備の不備などから利用者の期待に応じられないことがある。中長期改修実施計画の第2期優先順位評価対象施設である東尾久三丁目・西尾久みどりひろば館の改修のほか、多くのひろば館において老朽化による施設の維持が課題である。各々の館の利用ニーズが多様化するなか、それに対応する施設・設備が必要である。

問題点・課題の改善策			
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	サービス水準を維持し、利用者の要望に沿ったひろば館運営が行えるよう施設管理や設備の改善を実施する。	定期的に点検を実施し、適切な設備の維持・管理を行った。	サービス水準を維持し、利用者の要望に沿ったひろば館運営が行えるよう施設管理や設備の改善を実施する。
②	ふれあい館の整備状況を踏まえ、今後のひろば館の運用について検討する。	ふれあい館用地の確保に向けて情報提供を呼びかけるとともに、貸室の利用状況等の詳細把握に努めた。	ふれあい館の整備状況を踏まえ、今後のひろば館の運用について検討する。
③	中長期改修実施対象施設であるひろば館の改修を進めるとともに、緊急性を判断して修繕を適正に行っていく。	将来的なふれあい館への移行を見据えながらひろば館の補修等を行った。	中長期改修実施対象施設であるひろば館の改修を進めるとともに、緊急性を判断して適宜修繕を行っていく。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)	他区においても、施設の管理運営に必要な経費として計上している。	
況議(会質問状)	平成28年度予特 ひろば館のトイレ整備状況について		

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	04-03-03		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	緊急修繕対策費		部課名	区民生活部区民施設課	課長名	村田		
			担当者名	西谷	内線	2532		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-03-01	緊急修繕対策費						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度)			<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		元年度	根拠				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準			計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	ひろば館及びふれあい館について、家屋等修繕費では対応できない緊急工事が必要な場合に実施する。							
対象者等	ひろば館及びふれあい館							
内容	施設の老朽化等によるひろば館及びふれあい館において、緊急工事が必要な場合に実施する。							
経過	【平成29年度主な実施内容】※平成16年度区民課から予算の一部を移管 《ひろば館》三河島（カーペット張替、玄関庇修繕）、荒川六丁目（壁補修、雨避けテント張替、庇塗装、畳表取替）、町屋二丁目（照明器具交換）、東尾久小沼（カーペット張替、窓ガラス修繕）、東尾久三丁目（誘導灯交換）、西尾久みどり（トイレ手洗器交換、舞台控室窓ガラス交換）、日暮里（自動ドア駆動装置交換、自転車置場屋根等修繕、階段・踊り場壁面塗装）、諏訪台（雨樋等交換、雨漏り修繕）等 《ふれあい館》峡田（ソーラー外灯修繕）、荒川山吹（照明器具交換、空調電磁弁取替）、尾久（自動ドア部品交換、排煙装置修繕）、東日暮里（増圧給水ポンプ部品交換、屋上外壁補修）、夕やけこやけ（マルチハロゲン灯交換、空調室外機修繕）、西日暮里（空調部品交換、エレベーターロープ交換）等							
必要性	ひろば館の施設の老朽化や築10年を超えるふれあい館が増えてきており、小破修繕では対応できない緊急な改修工事等が必要となっている。							
実施方法	(<input checked="" type="radio"/> 1直営) (直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員)							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	緊急修繕件数	27	66	57		46	
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
継続		継続		施設の管理運営のため、必要な修繕を実施する。				

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		5,892	34,065	32,287	41,349	55,253	32,576	34,500
決算額(30年度は見込み)		5,444	31,687	7,206	39,253	55,043	28,589	34,500
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	ひろば館消防設備等修繕等	9,467	需用費	緊急修繕費	15,471	需用費	緊急修繕費	9,500
工事請負費	西千住区民事務所西部ひろば館屋上外壁改修工事等	45,576	工事請負費	緊急修繕費	13,118	工事請負費	緊急修繕費	25,000

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	行政費用	給与関係費	2,031	3,040	1,009		地方税	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	15,882	28,589	12,707	都支出金	65	0	▲65	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	3,936	3,936	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	65	3,936	3,871	
	賞与・退職給与引当金繰入額	218	156	▲62	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲18,066	▲27,849	▲9,783	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	18,131	31,785	13,654	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲18,066	▲27,849	▲9,783	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲18,066	▲27,849	▲9,783	

備考 ひろば館・ふれあい館の緊急修繕工事を行う事業であるため、行政費用の大部分を維持補修費(家屋等修繕費15,471千円、工事請負費13,118千円)が占めている。

問題点・課題 施設・設備の老朽化が進む中、緊急対応しなければならない工事が増加しており、大規模改修等の実施も視野に入れ、検討していく必要がある。
大規模改修には費用もかかることから、ふれあい館等の施設整備を見据えて修繕計画を立てる必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	施設の適正な維持管理に努め、計画的に修繕を行い。緊急修繕や工事を減らすように努める。	利用者が安全に利用できる施設となるよう、法定点検等の指摘に速やかに対応し適切な修繕に努めた。	施設の適正な維持管理に努め、計画的に修繕を行い、緊急修繕や工事の縮減に努める。
②			
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
他区においても、施設の維持に必要な修繕経費として計上している。	
議(会)質(問)状	

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		51,451	54,150	34,972	32,654	82,169	149,431	46,772
決算額(30年度は見込み)		48,700	50,708	30,299	27,692	80,558	142,360	46,772
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
部屋稼働率(%)		86.2	81.9	81.1	80.0	81.0	85.3	
利用総人数(人)		17,763	16,965	16,904	16,137	16,417	16,074	
区民優先室利用率(%)		52.6	47.2	45.8	47.3	46.6	52.5	
区民利用人数(人)		8,068	6,903	6,620	6,646	6,523	6,160	
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	経営診断謝礼外	92	報償費	経営診断謝礼外	50	報償費	経営診断謝礼	210
旅費	運営状況確認旅費外	201	旅費	運営状況確認旅費外	337	旅費	運営状況確認・監査旅費外	187
需用費	経営診断賄外	36	需用費	経営診断賄・消耗品等	83	需用費	経営診断賄・消耗品費等	90
委託料	自動ドア修繕等	4,596	委託料・使用料	客室ドア鍵修繕・AEDリース料等	3,196	使用料	AEDリース料	29
負担金補助等	区民利用補助	21,775	負担金補助等	区民利用補助	20,650	負担金補助等	区民利用補助	29,805
負担金補助等	営繕費・事務経費	53,858	負担金補助等	事務経費・リニューアル工事費等	115,043	負担金補助等	事務経費・修繕費	11,772
			負担金補助等	国有資産等所在市町村交付金	3,002	負担金補助等	国有資産等所在市町村交付金	4,679

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	給与関係費		9,629	2,534	▲ 7,095		地方税	0	0
物件費		3,810	434	▲ 3,376	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費		1,024	3,181	2,157	都支出金	0	0	0	
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等		33,078	34,996	1,918	使用料及び手数料	99	99	0	
減価償却費		33,648	35,267	1,619	その他	0	867	867	
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	99	966	867	
賞与・退職給与引当金繰入額		866	130	▲ 736	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 81,956	▲ 75,576	6,380	
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)		82,055	76,542	▲ 5,513	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 81,956	▲ 75,576	6,380	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 81,956	▲ 75,576	6,380	

施設のリニューアルに係る経費はほとんどが資産形成支出(貸借対照表に資産として計上)であり、行政費用のうち大部分を占める補助費等は、グリーンパル那須の利用者補助(20,650千円)及び国有資産等所在市町村交付金(3,002千円)等である。

問題点・課題
・同じお客様が1年間に何度も保養所を利用しているというデータがあり、一部の方だけでなく多くのお客様に平等に利用していただけるように、広報を充実させ、新規客の獲得に向けた積極的なPRと、日本ビューホテル事業(株)への指導・助言を行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、利用人数の向上、新規客の獲得に向けて、様々な媒体を活用した宣伝の検討を行う。	客室・大浴場等のリニューアル工事を実施すると共に、ポスターの掲示・ホームページの見直し等を行い、新規顧客の獲得を図った。	引き続き、利用人数の向上、新規客の獲得に向けて、様々な媒体を活用した宣伝の検討を行う。
②	次回の契約期間である平成33年度を目途に施設のあり方や大規模改修について検討していく。	特別区主管課長会等を通じて、他区の状況等の情報収集・研究を行った。	次回の契約期間である平成33年度を目途に施設のあり方や大規模改修について検討していく。
③			

他区の実況	(実施 11 区 未実施 11 区 不明 0 区)
貸付方式の施設を所有している区	千代田・文京・品川・豊島
議(会)質(問)状	

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		04-03-05		戦略プラン		○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名		委託保養所運営費		部課名	区民生活部区民施設課	課長名	村田
		担当者名	中村	内線	2532		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-02-01	委託保養所費				
事務事業の種類		○新規事業（○30年度 ○29年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		56年度	根拠			
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分		○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	区民の健康増進と福祉の向上に寄与すること（平成30年度予算から、「01-02-01委託保養所費」に事業統合）。						
対象者等	区内在住・在勤者とその家族（三親等以内）						
内容	<p>施設概要 （所在地） 静岡県熱海市熱海1993-250 本館 （施設規模） 敷地総面積約25万坪 17階建て 250室 総定員900名 附帯施設には、ハーブガーデンやビーチリゾート施設、バターゴルフ場、室内プールのほか、海を囲ったオーシャンプール、錦が浦庭園散策道路などがある。</p> <p>（借上室仕様） 10畳和室（定員5名）バス・トイレ付 （借上室数） 平成30年度：1,173室（4月1日～1月3日は3室、1月4日～3月31日は4室） ただし、同月同料金日内または同月の「平日」料金日から「休前日」料金日への振替可能 （利用手続） 利用日の3か月前の月の10日又は11日からアカオ東京予約センターへ電話予約可能 平成25年度利用分から抽選と窓口申請を廃止、予約はホテルで受け付けることとしたため、荒川区施設予約システムでのインターネット予約は不可とした。</p>						
経過	<p>東京から比較的近距离で温暖な地に区民保養所が欲しいという区民からの強い要望により、昭和56年から民間施設の一部を通年で借り上げている。</p> <p>これまで、湯河原「観光荘」、箱根「和泉」、箱根「萬翠楼福住」、箱根「金湯苑」、箱根「箱根小涌園」を借り上げて、多くの区民に低料金で提供している。平成11年度から熱海温泉「ホテルニューアカオ」に変更した。</p> <p>（予約方法の変更） 平成11年度 会場抽選会からはがき抽選に変更。指定日に来庁する必要がなくなる。 平成14年度 施設予約システムの導入により、インターネットからも抽選申込可能となる。 平成25年度 抽選と窓口申請を廃止。アカオ東京予約センターへの電話予約受付に変更。</p>						
必要性	社会経済状況の変化等を踏まえた上で、市場を通じて低価格で品質の良い旅行商品が供給されていることなどから、本事業の在り方について見直しをするべき時期にきている。						
実施方法	<p>（3委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）</p> <p>保養所運営業務を委託（民間ホテルの客室を一部借上げ） 年間委託料金（税込） 平成30年度予算 12,668,400円</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	①	客室稼働率（%）	92.2	88.5	87.0		90.0
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度		31年度					
継続		継続		今後社会経済状況の変化を踏まえ、区民ニーズを勘案した検討を進める必要がある。			

予算・決算額の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		18,254	12,347	10,269	10,304	10,274	10,198	12,718
決算額(30年度は見込み)		18,131	12,328	10,268	10,252	10,192	10,191	12,718
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	部屋稼働率(%)	68.7	85.3	92.6	92.2	88.5	87.0	
	利用総人数(人)	4,483	3,615	3,165	3,115	3,020	2,956	
	一人当たり区負担額(円)	4,044	3,410	3,244	3,291	3,375	3,448	
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	消耗品等	57	需用費	消耗品等	56	需用費	消耗品等	49
委託料	委託保養所客室借上料	10,135	委託料	委託保養所客室借上料	10,135	委託料	委託保養所客室借上料	12,669

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
	給与関係費	2,451	2,534	83	地方税	0	0	0
	物件費	10,192	10,191	▲1	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	220	130	▲90	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲12,863	▲12,855	8
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	12,863	12,855	▲8	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲12,863	▲12,855	8
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲12,863	▲12,855	8

備考 主に委託保養所の客室借上に要する経費であるため、行政費用のうち大部分は物件費が占めている。そのうち客室借上料は10,135千円である。

問題点・課題 ・利用者の希望が集中する時期については、今後も契約客室数の増加も含めて検討が必要である。

問題点・課題の改善策			
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	今後の事業形態の改善に向けた検討資料を揃えるため、他自治体の情報収集や利用者アンケートの実施を行う。	特別区主管課長会等を通じて、情報収集・研究を行った。	区民ニーズの把握に努め、今後の事業形態の改善に向けた検討を行う。
②	高い稼働率を維持しつつ、対象客数の多くを区民に供することができるよう、適正な室数について今後も検討を進める。	閑散期においても多くの区民に利用してもらえよう、区報やHP、チラシ等を活用して周知し、利用促進に努めた。	高い稼働率を維持しつつ、対象客数の多くを区民に供することができるよう、広報活動に努める。
③			
他区の実況	(実施 14 区 未実施 8 区 不明 0 区)		
議(会)質問状			

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		04-03-06		戦略プラン		<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事	
事務事業名		管理運営費（ふれあい館）		部課名	区民生活部区民施設課	課長名	村田
				担当者名	寺田	内線	2535
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-01-01	管理運営費（ふれあい館）				
		01-04-01	営繕費（ふれあい館・計画工事）				
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度)		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業	
開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 16年度		根拠		荒川区ふれあい館条例・同施行規則	
終期設定		<input checked="" type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 年度		法令等		荒川区ふれあい館管理運営要綱	
実施基準		<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分		<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系		分野	V 文化創造都市				
		政策	10 活力ある地域コミュニティの形成				
		施策	02 地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	児童育成事業や高齢者レクリエーション事業など様々な事業を一体的に展開し、乳幼児から高齢者までのあらゆる世代が交流し、区民の自主的な活動や地域のコミュニティの拠点となる「ふれあい館」を整備する。なお、ふれあい館の運営については、指定管理者制度を導入する。						
対象者等	乳幼児から高齢者まで						
内容	<対象施設> 13館 石浜ふれあい館、南千住ふれあい館、南千住駅前ふれあい館、汐入ふれあい館、峡田ふれあい館、荒川山吹ふれあい館、町屋ふれあい館、荒木田ふれあい館、尾久ふれあい館、西尾久ふれあい館、東日暮里ふれあい館、夕やけこやけふれあい館、西日暮里ふれあい館 <事業内容> (1) 施設の維持管理(光熱水費の支払、清掃・消防設備等の各種保守委託の契約締結及び支払) (2) 児童育成事業の実施 (3) 高齢者レクリエーション事業の実施 (4) 中高生・成人向け、世代間交流、地域交流事業等ふれあい館事業の実施						
経過	平成13年12月 新たな区民ひろばの構築にむけて<中間報告書>（区民利用施設等のあり方検討委員会） 平成14年 1月 区報に「ひろば館適正配置の検討（中間のまとめ）」掲載 平成14年 3月 新たな「区民ひろば」の構築にむけて<最終報告書>（区民利用施設等のあり方検討委員会） 平成14年 5月 区報に「ひろば館適正配置の検討（最終報告書）」掲載 平成14年 9月 新たな区民ひろば館の事業運営及び施設設備のあり方について（地域振興部） 平成14年10月 総務区民委員会報告（新たな区民ひろばの事業運営及び施設設備のあり方について） 平成15年11月 指定管理者制度による管理運営導入決定 平成28年 4月 公募により選定した指定管理者の指定期間を5年とする（27年度公募実施施設から適用） 平成29年 4月 指定管理制度における人件費、本部経費等の見直し						
必要性	ひろば館では児童育成事業又は高齢者事業を個々に実施しているが、それらの事業を一体的に展開し、あらゆる世代が交流できる「ふれあい館」は地域コミュニティ施設として必要である。また、施設の維持管理のための補修等は必要である。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 区内13ふれあい館を指定管理者に管理委託（30年度予算 指定管理料 675,396,805円）。 人件費・家屋等修繕費は実費精算、管理運営費は収支差額に応じて残金の一部を区に返還。						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	① 全ふれあい館利用人数	812,301	1,075,043	1,014,433	1,015,447	1,023,600	児童育成事業・高齢者レクリエーション事業利用者
	② 施設の稼働率(%)	67.5	61.5	57.7	58.0	60.3	事業利用・貸室による部屋の稼働率(全館平均)
③ 1㎡あたりの修繕費・工事費(円)	545	946	6,255	4,096	2,237	営繕費(指定管理料含む)/延床面積	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度		31年度					
重点的に推進	重点的に推進	乳幼児から高齢者までの各世代が活動する地域コミュニティ活動の拠点として、適切に管理を行い、さらなる効率的運営を図る。					

予算・決算額等の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額	539,580	636,538	637,630	634,658	643,459	820,175	771,356
決算額(30年度は見込み)	519,718	605,354	634,520	631,191	640,270	767,612	771,356
実績の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)							
ふれあい館数	11	13	13	13	13	13	13
ふれあい館開設数	3	2	0館	0館	0館	0館	0館
ふれあい館指定管理料(千円)	486664	580409	601614	605357	612574	638505	675397
計画工事費(千円)	9915	492	1378	0	0	102228	60789

平成28年度(決算)		平成29年度(決算)		平成30年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	審査委員謝礼	653	報償費・旅費	審査委員謝礼等	925
需用費	汐入ふれあい館公共料金等	7,047	需用費	汐入・南千住駅前ふれあい館公共料金・消耗品等	7,305
役員費・委託料	指定管理者委託料等	617,002	役員費・委託料	指定管理者委託料等	640,470
使用料等	南千住駅前ふれあい館駐輪場等使用料	3,345	使用料等	南千住駅前ふれあい館駐輪場使用料等	3,360
負担金補助等	南千住駅前ふれあい館管理費	12,224	工事請負費	空調・特定天井工事(4館)	102,227
			備品購入費	防犯カメラ機器等	2,425
			負担金補助等	南千住駅前ふれあい館管理費	10,900
			備品購入費	学校110番非常通報装置機器入替等	4,938
			負担金補助等	南千住駅前ふれあい館管理費	10,900

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	24,401	26,467	2,066	地方税	0	0	0
	物件費	628,944	653,560	24,616	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	3,236	3,236	都支出金	729	1,597	868
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	11,326	11,832	506	使用料及び手数料	17,740	16,276	▲1,464
	減価償却費	174,192	173,872	▲320	その他	439	7,637	7,198
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	18,908	25,510	6,602
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,619	1,355	▲1,264	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲822,574	▲844,812	▲22,238
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲33,120	▲30,612	2,508
	行政費用合計(b)	841,482	870,322	28,840	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲855,694	▲875,424	▲19,730
特別費用(g)	4	0	▲4	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲4	0	4	当期収支差額(e)+(h)	▲855,698	▲875,424	▲19,726	

備考 ふれあい館の運営及び維持管理に要する経費であるため、行政費用のうち物件費が大部分を占めている。そのうち主なものは指定管理者委託料(638,504千円)、備品購入費(2,425千円)、設備保守点検委託料等(1,927千円)である。

問題点・課題 平成13年度竣工の汐入ふれあい館など、築10年以上を経過するふれあい館が増えてきており、施設の適切な維持管理を図るため、計画的な修繕を実施する必要がある。

問題点・課題の改善策			
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区民の要望に沿った事業を実施できるように、指定管理者に対し管理指導を行い、適正な運営に努める。	区民の要望に沿った事業を実施できるように、指定管理者に対し管理指導を行い、適正な運営に努めた。	区民の要望に沿った事業を実施できるように、指定管理者に対し管理指導を行い、適正な運営に努める。
②	集客施設として、ゆいの森や日暮里活性化施設等との各々の位置づけを整理して今後の整備を検討する。	集客施設として、ゆいの森や日暮里活性化施設等との各々の位置づけを整理して今後の整備を検討した。	ふれあい館の整備用地確保の情報収集に努め、「ふれあい館整備ニュープラン」の遂行を図る。
③	定期的に点検等を実施して施設の維持管理を適正に行い、区民サービスの向上を図る。	利用者の安全安心を確保し、利用者の要望に沿った運営ができるように施設の適切な維持管理を行った。	定期的に点検等を実施して施設の維持管理を適正に行い、区民サービスの向上を図る。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)		
況議(要旨)問質状	他区においては、高齢者館や児童館などと利用対象を区切っている場合もあるが、同目的の事業は全区で行っている。		
	平成19年一定	青少年の居場所づくりについて	
	平成21年三定	自由に利用できる休憩場所や情報提供の場を備えた「まちの駅」機能の取り入れについて	
	平成24年三定	地域コミュニティの更なる支援について	
	平成27年度決特	ふれあい館音楽室の防音設備の状況について	

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	04-03-09		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事			
事務事業名	区民施設建設費		部課名	区民生活部区民施設課		課長名	村田
			担当者名	大條		内線	2531
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-01	（仮称）東尾久三丁目付近ふれあい館整備					
	01-01-02	（仮称）日暮里ふれあい館整備					
	01-02-01	日暮里地域活性化施設整備					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業 <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度		<input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 16年度		根拠				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 年度		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市					
	政策	10 活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02 地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	地域コミュニティの拠点となる施設を整備することで、乳幼児から高齢者まであらゆる世代の区民の相互交流と地域活動を促進し、地域の活性化を図ることで、心豊かで活力に満ちた地域社会を形成する。						
対象者等	区民及び来街者						
内容	<p><ふれあい館整備> （仮称）東尾久三丁目付近ふれあい館・（仮称）日暮里ふれあい館 平成28年度 用地取得（東尾久のみ） 平成29年度 測量、地盤調査、基本設計（東尾久のみ） 平成30年度 基本設計、実施設計 平成32～33年度 建設工事 平成34年度 開設予定</p> <p><日暮里活性化施設整備> 区民事務所機能とともに、地域の活性化に資する機能を持つ施設 平成27年度 測量、地盤調査、用地取得 平成28年度 基本設計、実施設計 平成29年度 実施設計 平成30～31年度 建設工事 平成32年度 開設予定 ※30年度予算は産業経済部と面積按分し、産業振興課：73.14%、区民施設課：26.86%で計上。</p>						
経過	<p><ふれあい館 開設年月></p> 平成16年10月 荒木田ふれあい館、西尾久ふれあい館 平成17年 4月 汐入ふれあい館、東日暮里ふれあい館 ※汐入ふれあい館は平成13年度竣工（17年度名称変更） 平成18年 2月 荒川山吹ふれあい館 平成20年 4月 西日暮里ふれあい館 平成22年 4月 南千住駅前ふれあい館 平成23年 4月 峽田ふれあい館 平成24年 4月 南千住ふれあい館、町屋ふれあい館、尾久ふれあい館 平成25年 4月 石浜ふれあい館、夕やけこやけふれあい館						
必要性	ひろば館では児童育成事業又は高齢者事業を個々に実施しているが、それらの事業を一体的に展開し、あらゆる世代が交流でき、区民の自発的な活動や地域コミュニティの拠点となる「ふれあい館」の整備が急務である。また、施設と地域の魅力とが相乗して地域を活性化できる施設が必要である。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 委託内容：測量、地盤調査、設計業務、工事監理業務						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
重点的に推進	重点的に推進	地域コミュニティの拠点となる中心的な施設のため優先度は高い。新たなふれあい館の整備に向けて、積極的に用地取得等を行っていく。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額					210,523	319,530	404,569	193,689
決算額(30年度は見込み)					207,839	318,796	16,627	193,689
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	用地取得費(千円)				203,355	296,628	—	—
	工事請負費(千円)				—	1,430	—	112,543
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	設計委託公募委員会委員謝礼等	135	需用費・使用料等	旧日暮里区民事務所防犯カメラ電気料等	6	旅費・需用費	日暮里活性化施設検査旅費・消耗品等	83
需用費	設計委託公募委員会委員謝礼	3	役務費	東尾久三丁目用地樹木剪定等	250	使用料・賃借料	旧日暮里区民事務所防犯カメラ共架料	2
委託料	施設整備基本設計及び実施設計	20,600	委託料	東尾久三丁目敷地測量・地盤調査等	5,813	役務費	東尾久三丁目交換用地鑑定料等	350
工事請負費	ふれあい館用地整備	1,430	委託料	東尾久三丁目用地基本設計	3,400	委託料	東尾久三・日暮里ふれあい館基本・実施設計委託等	66,892
公有財産購入費	ふれあい館用地取得	296,628	委託料	東尾久三丁目用地測量・防草シート敷設等	432	委託料	日暮里活性化施設工事監理	1,827
			委託料	日暮里ふれあい館用地敷地測量・地盤調査	6,399	工事請負費	東尾久三丁目地区道拡幅工事	11,992
			委託料	日暮里活性化施設防犯倉庫移設等	327	工事請負費	日暮里活性化施設建設工事	112,543

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	1,309	6,794	5,485	地方税	0	0	0	
	物件費	3	1,015	1,012	国庫支出金	69	0	▲69	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	135	0	▲135	使用料及び手数料	0	5	5	
	減価償却費	0	37	37	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	69	5	▲64	
	賞与・退職給与引当金繰入額	141	348	207	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲2,949	▲8,189	▲5,240	
	その他行政費用	1,430	0	▲1,430	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	3,018	8,194	5,176	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲2,949	▲8,189	▲5,240	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲2,949	▲8,189	▲5,240		

備考 平成29年度歳出のほとんどは資産形成支出(ふれあい館建設用地の敷地測量・地盤調査および基本設計。貸借対照表に資産として計上)であり、行政費用の大部分を占める物件費は、用地の管理に係る経費(樹木剪定・除草作業、防犯カメラの維持管理等)である。

問題点・課題 ふれあい館ニュープランに沿って引き続き整備を推進するが、適切な建設用地の確保が困難な状況の地区もある。未整備館について、再開発や複合施設などの整備手法を視野に置いて整備に向けた検討を進める必要がある。整備の目途がたないふれあい館について、取り得る整備手法を検討して今後の進め方を再考する必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ふれあい館整備ニュープランに基づき、地域特性を踏まえた利用状況の分析を進め、整備を進める。	ふれあい館用地の確保に向けて、情報収集に努め、地域特性を踏まえた利用状況の分析を進めた。	ふれあい館整備ニュープランに基づき、地域特性を踏まえた利用状況の分析を進め、整備を進める。
②	区の現状や様々な区民ニーズに合った施設を建設するため、施設利用者となる地域住民等の意見や要望を踏まえて検討する。	区民が利用しやすい施設を整備するため、地域住民等の意見を把握し、今後の整備に反映するよう努めた。	区の現状や様々な区民ニーズに合った施設を建設するため、施設利用者となる地域住民等の意見や要望を踏まえて検討する。
③			

他区の実況	(実施) 0 区	未実施) 22 区	不明) 0 区)
議(会)質(問)状	平成19年一定 平成26年度11月会議 平成26年度2月会議 平成27年度決特 平成29年度予特	ふれあい館建設計画の遅延 ふれあい館20館整備の進捗、日暮里・東尾久地域のふれあい館整備等 今後の公共施設整備のあり方について (仮称)東尾久三丁目ひろば館整備の進捗状況について 日暮里公共施設順次更新について	

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-04-01		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	ゆいの森あらかわ事務管理費		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林		
			担当者名	榊	内線	3750		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-02-01	事務管理費						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度)		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業					
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 28年度		根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 年度		法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	ゆいの森あらかわの適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、魅力的かつ快適で安心・安全なサービスの充実を図る。							
対象者等	ゆいの森あらかわ利用者							
内容	【開設】平成29年3月26日 【所在地】荒川区荒川2-50-1 【土地面積】4,111㎡ 【述床面積】10,944㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 【開館時間】午前9時30分～午後8時30分 【主な事業】中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば等							
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 (仮称)あらかわ二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 (仮称)荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 (仮称)荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年 2月 愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロポーザルによりカフェ運営事業者決定 平成28年 1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工 3月26日 開館 12月 50万人達成記念セレモニー 平成30年 3月 開館1周年記念セレモニー							
必要性	ゆいの森あらかわの運営により、荒川地区はもとより、区内全体の知とコミュニティの醸成を図るため、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と経験を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれる施設の必要性は高い。							
実施方法	(2-一部委託) (直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員) 夜間総合受付・清掃・警備・植栽管理業務等を委託							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	入館者数		15,991	690,094	800,000	1,006,300	ゆいの森あらかわ入館者数
	②	区民一人当たりの経費(円)(4.1現在)			933	845	800	ゆいの森事務管理費÷住基人口
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
推進	推進	施設全体のPRを行い、国内外の来館者が利用しやすい環境を整備する。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額						-	181,750	181,518
決算額(30年度は見込み)						-	147,982	181,518
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
修繕件数		0	0	0	0	0	3	0
予算・決算の内訳		平成28年度(決算)			平成29年度(決算)		平成30年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
			旅費	近接地内外旅費	368	報償費	アドバイザー謝礼等	624
			需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	45,350	旅費	近接地内外旅費	620
			役務費	電話・郵便・手数料等	6,495	需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	51,986
			委託料	施設管理に係る業務委託等	89,925	役務費	電話・郵便・手数料等	8,630
			使用料等	トイレ衛生装置・AED貸借等	535	委託料	施設管理に係る業務委託等	118,357
			工事請負費	書架棚照明増設	2,563	使用料等	トイレ衛生装置・AED貸借等	1,201
			備品購入費	家具什器購入費	2,746	備品購入費	家具什器購入費	100

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費			27,215			地方税		0		0
物件費			144,892		国庫支出金		0		0		
維持補修費			527		都支出金		0		0		
扶助費			0		分担金及び負担金		0		0		
補助費等			0		使用料及び手数料		5,053				
減価償却費			256,012		その他		2,362				
不納欠損・貸倒引当金繰入額			0		行政収入合計(a)	0	7,415	0		0	
賞与・退職給与引当金繰入額			8,192		行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲429,423	0		0	
その他行政費用			0		金融収支差額(d)		▲11,510				
行政費用合計(b)	0	436,838	0		通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲440,933	0		0	
特別費用(g)			0		特別収入(f)		0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	0	▲440,933	0		0	

備考 主な行政費用は物件費と減価償却費であり、建物管理維持・保守等89,869千円、公共料金43,722千円、労働者派遣4,578千円などである。減価償却費は建物・工作物・備品等の減価償却である。また、行政収入の使用料及び手数料は駐車場使用料収入、カフェ、自動販売機の貸付料である。

問題点・課題
 ・利用者が安心・安全な施設の運営を行う。
 ・快適な環境づくりを図るとともに、設備の適正な維持管理を行う。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	利用者が安心・安全で、より快適な施設運営を実施する。	館内の照明やサインの追加設置を実施し、来館者がより快適に過ごせる環境を整備した。	引き続き利用者にとって安心・安全で快適な施設運営を実施するとともに、運営コストの削減について検討する。
②			
③			

他区の実況 (実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
 図書館、文学館、子どものための施設が融合した、これまでにない新しいコンセプトの施設である。

議(会)質(問)状
 ・平成28年度 6月会議 成果と今後の方向性について
 ・平成28年度 決特 ゆいの森あらかわの周知について
 ・平成29年度 決特 サインの見直しについて
 ・平成29年度 決特 カフェの運営について
 ・平成29年度 予特 適切な施設管理について

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額						-	10,036	8,905
決算額(30年度は見込み)						-	4,395	8,905
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業開催数(回)					2	301	350
	ボランティア活動者数(延べ人数)					20	74	134
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
			報償費	イベント講師謝礼	586	報償費	イベント講師謝礼	2,337
			需用費	消耗品費・印刷費	444	需用費	消耗品費・印刷費	1,044
			役務費	展示運搬・展示保険料	414	役務費	展示運搬・展示保険料	1,356
			委託料	企画展示制作等	2,601	委託料	企画展示制作等	3,768
			負担金	シンポジウム共催	350	備品購入費	イベント備品購入	400

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目		28年度	29年度	差額
	行政費用	給与関係費			9,385		地方税			0
物件費				3,412		国庫支出金			0	
維持補修費				0		都支出金			0	
扶助費				0		分担金及び負担金			0	
補助費等				982		使用料及び手数料			0	
減価償却費				0		その他			1,003	
不納欠損・貸倒引当金繰入額				0		行政収入合計(a)	0	1,003	0	0
賞与・退職給与引当金繰入額				2,825		行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲15,601	0	0
その他行政費用				0		金融収支差額(d)			0	
行政費用合計(b)		0	16,604	0		通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲15,601	0	0
特別費用(g)			0		特別収入(f)			0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	0	▲15,601	0	0	

備考 主な行政費用は物件費で、イベント・企画展等の運営経費2,847千円である。補助費の主な支出はイベント等の謝礼、保険料である。また、行政収入はゆいの森あらかわで販売しているグッズの売上である。

問題点・課題

- ・関係所管と連携した多様な事業展開を行い、魅力ある事業運営を行う必要がある。
- ・より多くの方が参加できるように、ボランティア活動の内容や、参加しやすい仕組みを検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	他部署と連携し、多くの区民が参加できる様々な分野のイベントを実施することで、魅力ある施設運営に繋げる。	多くの関係所管と連携したイベントを多く実施した。	多くの関係部署と連携し、来館者にとって魅力ある事業運営を行う。
②	幅広くボランティアを募集し、活動しやすい環境を提供する。	ボランティア活動のあり方について検討した。	事業の協同実施を想定した講座等を実施し、ボランティアの育成を行う。
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
議(会)質(問)状	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 予特 ボランティアについて ・平成28年度 予特 オープニングイベント等について ・平成28年度 決特 ボランティアの活用について ・平成29年度 決特 事業者と連携したイベントの実施について ・平成29年度 予特 魅力あるイベントについて

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-04-03	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事						
事務事業名	ゆいの森子どもひろば運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課		課長名	小林			
		担当者名	榊		内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-05-01	ゆいの森子どもひろば運営費							
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	29年度	根拠	一時預かり実施要綱					
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画						
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市						
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成						
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり						
目的	子どもたちが多様な体験や学びによって、将来の夢を育む支援を行う。また、孤立しがちな親子や小中学生の安全な居場所を提供する。								
対象者等	主に中学生以下の生徒、児童、乳幼児とその保護者								
内容	【乳幼児（主に遊びラウンジ）】 絵本館との融合を図りながら、雨の日でも遊べる成長に合わせた室内遊具を設置。保育士の見守りにより、簡単な育児相談も実施。 【児童、生徒（主に学びラウンジ）】 体験キットや理科実験等のワークショップを実施する他、放課後の安全で自由な居場所を提供。 【一時預り（業務委託）】 区内在住の未就学時を対象に、開館日に1クール2時間の一時預り（千円／1クール）を実施。毎月7クールまで利用可能。								
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 体験キット、体験ワゴン、星空学習ソフト、デジタル地球儀など小中学生を対象とした体験事業を開発 平成29年 3月26日 開館 4月 科学実験ショー実施 遊びタイム実施（毎週金曜日） 5月 子育て講座実施（毎月第4金曜日） 区立小学校4年生校外学習「あらかわ未来・体験学習」受入 12月 子ども星空学習実施 3月 子ども向けアニメ映画上映会実施								
必要性	子どもたちの安全な居場所や自主的な学びの場として広く活用するとともに、災害時に乳幼児の避難場所として機能するために必要である。								
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 一時預りについては業務委託を行うが、その他は専門の非常勤等で来館する対象に合わせた事業を展開する。								
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明		
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)	
	①	遊びラウンジ利用者数（子どものみ）				39,847	40,000	44,000	
	②	体験キット貸出件数				15,262	20,000	25,000	
③	ワークショップ等参加者数				2,925	3,500	4,300	ワークショップ、校外学習の参加者	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等							
30年度	31年度								
重点的に推進	重点的に推進	就学前の親子や小中学生の安全な居場所として、遊び・学びラウンジの充実を図っていくとともに、未来を担う子どもたちに様々な体験を提供し、将来へ夢をはぐくむ場となるよう、積極的に事業を進めていく必要があるため。							

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額						-	26,634	21,112
決算額(30年度は見込み)						-	21,316	21,112
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
一時預り者数(延べ人数)							2,557	3,000
体験キット等保有数(種類)							17	22
校外学習等参加者数(延べ人数)							1,451	1,486
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
			賃金	保育臨時職員	380	賃金	保育臨時職員	0
			報償費	講師謝礼	154	報償費	講師謝礼	354
			需用費	消耗品費等	1,571	需用費	消耗品費等	975
			委託料	乳幼児一時預かり業務委託等	17,631	役務費	通信アクセス料等	76
			償還金(利子等)	補助金返還金	1,580	委託料	乳幼児一時預かり業務委託等	19,707

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	給与関係費		0	22,245	22,245		地方税		0
物件費				19,582		国庫支出金		3,266	
維持補修費				0		都支出金		3,266	
扶助費				0		分担金及び負担金		0	
補助費等				1,734		使用料及び手数料		0	
減価償却費				0		その他		2,396	
不納欠損・貸倒引当金繰入額				0		行政収入合計(a)	0	8,928	0
賞与・退職給与引当金繰入額	0			6,696	6,696	行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲41,329	▲28,941
その他行政費用				0		金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)	0			50,257	28,941	通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲41,329	▲28,941
特別費用(g)				0		特別収入(f)		0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0			0	0	当期収支差額(e)+(h)	0	▲41,329	▲28,941

備考 行政費用の物件費については、一時預かり委託料として13,641千円、イベント実施委託として3,990千円等である。また、補助費等については、主にワークショップ講師謝礼である。行政収入の国庫・都支出金については、子ども子育て支援事業の補助金であり、その他については一時預かり利用料である。

問題点・課題

- ・利用者を飽きさせないよう、魅力ある遊具の定期的な入れ替えに向けて検討を行う必要がある。また、おもちゃの破損・紛失が多いため、大切に使うよう利用者に働きかける必要がある。
- ・子どもたちの学びや体験の機会をさらに提供するため、幅広い分野で体験キットを充実させるとともに、ワークショップ等の実施回数の増加に向けて検討を行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	遊びラウンジを安全に利用できるよう、ひろばの利用ルールを検証する。	日々の利用状況を踏まえて、ひろばの利用ルールを改定し、利用者に周知した。	おもちゃの使い方等、利用者への声かけの仕方を検討する。
②	今後必要な体験キットを検討し、充実する。	子どもの利用状況を踏まえ、新たな分野の体験キットを追加した。	子どもたちが幅広く体験できるよう、多様な分野の体験キットを追加するとともに、様々なイベントを企画する。
③	安全に一時預りを実施しながら、区民への周知に努める。	子どもの安全を第一に一時預かりを実施し、積極的に周知した。	一時預かり中の乳幼児がより安心して、楽しく滞在できる環境づくりを行う。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
遊戯ラウンジは、国の事業である「地域子育て支援拠点事業」に基づき実施している。	
況議(会質問状)	・平成29年度 決特 乳幼児一時預かりについて

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-04-05		戦略プラン		●協働 ○業務 ○財務 ○人事		
事務事業名		吉村昭記念文学館推進事業運営費		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林	
				担当者名	田邊	内線	2256	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-06-01 吉村昭記念文学館運営費						
事務事業の種類		○新規事業（○30年度 ○29年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度		○昭和 ●平成 18年度		根拠法令等		荒川区立ゆいの森あらかわ条例		
終期設定		○有 ●無 年度						
実施基準		○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分		○計画 ●非計画		
行政評価事業体系		分野	V	文化創造都市				
		政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
		施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	郷土を代表する作家・吉村昭氏及び吉村氏に関連のある作家に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。							
対象者等	区民等							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○吉村昭氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究 ○企画展示の計画、展示物の製作などの展示活動 ○講演会や吉村氏・津村氏とゆかりのある地との連携等を通じた、吉村昭氏と同氏の作品の普及啓発 ○文学館が地域文化の醸成に貢献できるよう友の会の運営 ○ホームページ等での広報 <p>文学館エリア：約540㎡（ゆいの森あらかわ2階・3階の一部、復元書斎を含む） 入館料：無料</p>							
経過	<p>平成4年5月 吉村昭氏区民栄誉賞受賞 区役所1階で作品展開催 日暮里図書館吉村昭コーナー設置 平成16年4月 区内の各図書館に吉村昭著作コーナーを設置 平成18年7月31日 吉村昭氏逝去 11月 文学館のあり方に関する懇談会設置（～19年3月） 平成19年1月 講演会 6月 文学館基本構想委員会設置（～20年3月）7月 講演会、企画展 平成20年7月（仮称）吉村昭記念文学館推進委員会設置 7月 追悼イベント 10月 企画展、講演会 平成21年～26年度 企画展、講演会を年各1回実施 平成27年3月 吉村昭記念文学館友の会設立、吉村昭記念文学館展示等検討委員会設置 平成29年3月26日 吉村昭記念文学館開館・開館記念企画展開催（7月まで） 7月 日本文藝家協会共催シンポジウム 10月 第2回企画展開催（12月まで） 11月5日 おしどり文学館協定締結式 平成30年3月17日 落語会（学習院大学落語研究会）</p>							
必要性	吉村昭氏の業績を後世に伝えるとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することで、区における文化の醸成や区のPRにも寄与することから、必要性は非常に高い。							
実施方法	<p>（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）</p> <p>文学館の運営に当たっては、学芸員の資格を有する専門の非常勤職員を採用して実施するとともに、専門家の御意見も伺いながら進める。展示製作業務、デジタル写真撮影業務等を委託</p>							
指	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	事業の参加人数（人）	235	506	683	700	800	イベントや講演会等の参加者人数
	②	文学館友の会会員数（人）	350	735	404	420	500	吉村昭氏の功績や作品を広く周知するための指標
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進	重点的に推進	企画展の開催や友の会の運営を通して荒川区の文化を区内外に広く発信するとともに、地域文化の醸成を図る。また、館の更なる周知を図るほか、継続的に友の会会員を募集し館の運営をより一層充実させる。						

